

1. トピックス …オンライン理事役員会開催
オンラインの良さ 遠方役員一同に会議

□□ _____ □□

初めてのオンライン理事役員会が1/20に開催されました。

出席者は理事：川井（三鷹）、岩根（彦根）、山崎（領）（八王子）、
山崎（良）（三鷹）、喜田（奈良）、横井（神戸）、出村（金沢）、
鳥原（名古屋）、荒井（相模原）、加藤（松本）、坂本（高知）、
顧問：渡辺（旭川）の各氏でした。

北は旭川から南は高知までオンラインの良さを改めて知った会議になりました。
以下は山崎事務局長の決定事項のメモです。

①岐阜大会（5/14）について オンラインなど工夫して実施の方向を探る。
1か月前の4/13までに返答すれば、キャンセル料は発生しないので、4月初め
までには可否を決定する。基本的には、やる方向で、リアル開催が無理な時は、
まったくやらないのではなく、オンラインや別の工夫をして、取り組めるよう
今後、検討する。

②第1回2級アドバイザー試験の実施について（荒井説明） 8月から実施
今年8月から実施。内容案は基本的には了承された。
今後さらなる具体化に向けて詰めを急ぐ。1級試験の受験資格については、
2級合格者又は、養成講座に1回以上に変更することも了承された。

③自費出版年鑑制作の課題と財政処置（山崎良）
21年度から、これまでの年鑑100部購入費とは別に、編集補助費として、5万円を
サンライズ出版に支払うことに決定。表記の間違いなどの校正チェックは引き続き
願います。了承。ただし、根本的な解決になっていないので、その件については
関係者で継続課題とする。

④2020年度入退会員確認（川井） 退会6法人、入会2法人・2個人
退会は、イーピックス（大船渡）・秋田情報プリント（秋田市）・東海共同印刷（名古屋）
・中央プリント（長野市）・いなもと印刷（土浦）・京都青倉（京都）の法人6社。
法人入会は、デジタルパブリッシングサービス（東京）・現代図書（相模原）の法人2社。
個人入会は、佐藤左和子（東京）・本間淑子（東京）の個人2名。了承。

⑤「自費出版契約ガイドライン」について（川井）： 認定の問い合わせあり
2008年に契約ガイドラインを制定し、その申請・認定に関する規約を決めております。
今回入会した、株式会社現代図書から認定手続きの問い合わせあり。
規定のように、審査は、理事会（運営委員会）が行うことになっているので、特に手続き
・規定に変更なければ、実申請があり次第、速やかに取り掛かりたい。了承。

⑥今期予算の修正及び決算見込み（山崎） 収入減だが支出も減となり若干の黒字
2020年度は、コロナ禍のため、岐阜大会・総会や表彰式などが中止。
収入・支出とも大きく変更になっている。
収入は660万予算が574万へ、支出は、643万が556万に変更したい。
最終決算は、18万の黒字化を目指したい。この収支計画は、600件の文化賞応募収入を前
提に
たてられており、第24回募集を頑張りたい。（1/15現在、約200件の応募があり、昨年同
期より、
やや多め）以上中間報告としたい。了承。

⑦2021年自費出版ネットワーク予定表（山崎）
現在決定しているもの： 4/21（水）理事会（予算・決算）、5/14（金）全国総会・岐阜
大会、

また、第24回文化賞関係は、3/31応募締め切り、4月末～6月末第一次選考会、7/17（土）第2次選考会、7/20～8/25頃までに最終選考、9/1（水）最終選考会・記者発表、10/23（土）表彰式→コロナ禍の終息具合によるが、一応決めておく。了承。

⑧HPでの文化賞受賞者紹介の仕方

文化賞大賞受賞者など、HPトップ画面で紹介をした方がいい（渡辺顧問アドバイス）に対し、荒井担当理事が対応案提出。役員の見解を加え改良で了承。

□□ _____ □□

2. トピックス …アドバイザー養成講座もオンライン+リアルで
1月22日開催18人参加

□□ _____ □□

1月22日に自費出版アドバイザー講座

「トラブル事例で学ぶの編集術－危機に巻き込まれないためのノウハウ集－」

講師：下村 昭夫氏（出版メディアパル編集長）が

リアル+オンライン講座として開催しました。

参加者はリアルが4人、オンライン14人の計18人でした。

そのうち、7人は北海道からの参加者でした。

トラブル事例と対処法などの話をベースに、出版者の心意気などを語っていただき、最後の質問コーナーでは、商業出版は大変厳しいので無理にやらない方がいいと経験から話していただいた。

□□ _____ □□

3. 自費出版事情 … ～会員便り～ No.38

□□ _____ □□

中西出版株式会社
河西 博嗣

「心に残る「贈り物」をイメージして
～誌上表彰式冊子の制作にあたって」

日本自費出版文化賞の表彰式の代わりとして冊子を制作すると知り、我が社もぜひ挑戦してみようと今回の冊子づくりに応募しました。

いつもの本づくりとは違い、制約が少ない代わりに自由な発想が試されるこの冊子。しかも手に取るのは目の肥えた方々です。どのようなカタチにすべきかいろいろ悩んだ末、少しでも印象に残るような「贈り物」にしたいと思いました。

テーマは“シンプルで和・慶事・温もりを感じるもの”。

判型をAB判に、レイアウトは文章と書影が見やすいシンプルな設計にしました。さらに一工夫できないかと、製本方法にはノドまで大きく開く「コデックス装」を採用。その特徴のむき出しの糸には赤と白を交互に綴りませ、慶事を表現しました。用紙には柔らかで細やかな風合いの「テイクGA」、そしてカバーの代わりに巻紙の「アートドリープしげみ」を使い、手ざわりと温もりを感じる仕上がりを求めました。

この提案を運良く認めていただき編集作業が始まったのですが、いざ原稿が集まり始めると、予定より文字数の多いものがほとんど。それでもなんとか誌面を調整し、ページを増やすことなく作り上げることができました。

校正もいつもより少し背筋を伸ばして一字一句向き合い（普段は気を抜いているわけではありません）、心の修業にもなった誌上表彰式。少しでもご満足いただけるものができていれば幸いです。

□□ _____ □□

☆ 知っとこ 愛知 ☆ その9

□□ _____ □□

知っとこ愛知

引っ越しを機に、愛知県に暮らしながらまだまだ知らない街が身近に沢山ある！と改めて気づき、今まで行ったことのなかった街に出かけるようになりました。今回はそこで見つけたオススメスポットをご紹介します。

・清須市はるひ美術館 <http://www.museum-kiyosu.jp>
こじんまりとした美術館ですが、現代美術やイラストレーション、映像など色々なジャンルの展覧会を開催しています。美術館自体も素敵ですが、周りに公園や図書館もあり、1日のんびり過ごせます。桜の季節もオススメです。

・豊山町あいち航空ミュージアム <https://aichi-mof.com>
県営名古屋空港内にある航空機をテーマとしたミュージアムです。展示を見るのも楽しいですが、パイロット体験や整備士体験もできるので家族で楽しめます。展望デッキから見る飛行機の離着陸は大迫力です！

・犬山市モンキーセンター <https://www.j-monkey.jp>
世界屈指のサル類動物園で約60種850頭の霊長類がいます。子どもの頃「動物園なのになぜサルしかいないのか」と困惑した記憶がありますが、大人になって改めて行ってみたら癒しスポットでした。楽しいイベントも多く、来年1月にある「猿JOY! ファン感謝祭」はとても気になります。

まだまだ知らない場所があると思うとワクワクします。今はあまり出かけられませんが、情報収集はしてるので落ち着いたらあちこちに出かけたいと思っています。

株式会社マルワ 松下 朋子

★あとがき

今回のメルマガは理事会報告がメインでした。私も参加させていただきましたが、

久しぶりに皆さまの顔が拝見できて、ホッとして嬉しかったです。
オンラインでも、顔を合わせることは大切ですね。

そして、私がとても知りたかった「誌上表彰式」の作り手の想いが聞けて、これまた嬉しかったです。モノづくりに対する姿勢を伺って改めて自分も襟を正しました。

表彰式ができなくて、あのユニークなスピーチも聞けず残念でしたが、このコロナ禍で新しいモノを作り出すチャンスがあるのかもしれないですね。

最後までお読みくださりありがとうございました。

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら
yumi@maruwanet.co.jp まで、お願いいたします。